

未来を考える

2006 環境報告書

地球への思いやり

琵琶湖を愛する



日本精工株式会社 大津工場

滋賀県大津市晴嵐一丁目 16 番 1 号

日本精工の理念

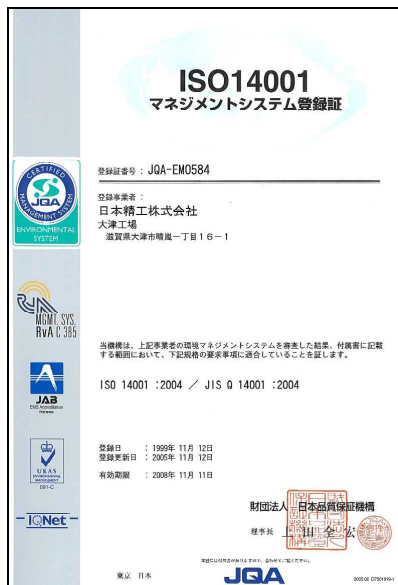
NSK は、MOTION & CONTROL を通じ、円滑で安全な社会に貢献し、**地球環境の保全をめざす**とともに、グローバルな活動によって、国を越えた人と人の結びつきを強めます。

主な環境自主行動項目

地球温暖化防止	省エネルギー活動
廃棄物対策	減量化 再資源化
省資源	資材及び消耗品の削減 用水使用量の削減
グリーン調達	環境負荷の小さい製品・部品・材料等の調達
法・条例等順守	大気・水質・騒音・振動・悪臭・土壌汚染
景観向上	工場周辺の清掃 緑化

ISO14001 認証

1999年11月に認証を取得し、3回の更新審査を受診し現在に至っています。



日本精工(株)大津工場 環境方針

日本精工株式会社 大津工場は、琵琶湖と山々が連なる水と緑に恵まれた美しい景観の中で、品質と技術に秀でた玉軸受を主として製造する工場です。この豊かな自然と地球環境を保全するため、環境との調和を事業活動の最優先課題の一つと位置づけ、次に掲げる環境活動を推進する。

- 1. 環境汚染の防止** 環境関連の法規制及び条例等を遵守すると共に、技術的かつ経済的に可能な範囲で自主基準を設け、環境汚染の防止に努める。
- 2. 環境負荷の低減** 省資源、省エネルギー及び廃棄物の減量化・再資源化を推進し、環境負荷の低減をはかる。又、環境負荷低減型の商品づくりを常に心がけ地球にやさしい製品・サービスを提供する。
- 3. 自然環境の保護** 琵琶湖の大切さを認識し、自然環境の向上に努め、地域社会との調和をはかる。
- 4. 継続的改善** 環境目的及び目標を定め、又見直し、環境マネジメントシステムと環境パフォーマンスの継続的改善をはかる。
- 5. 環境啓発活動の推進** 環境教育、広報活動を通じて全従業員及び関係委託業者に、環境方針を周知させるとともに意識の向上をはかる。

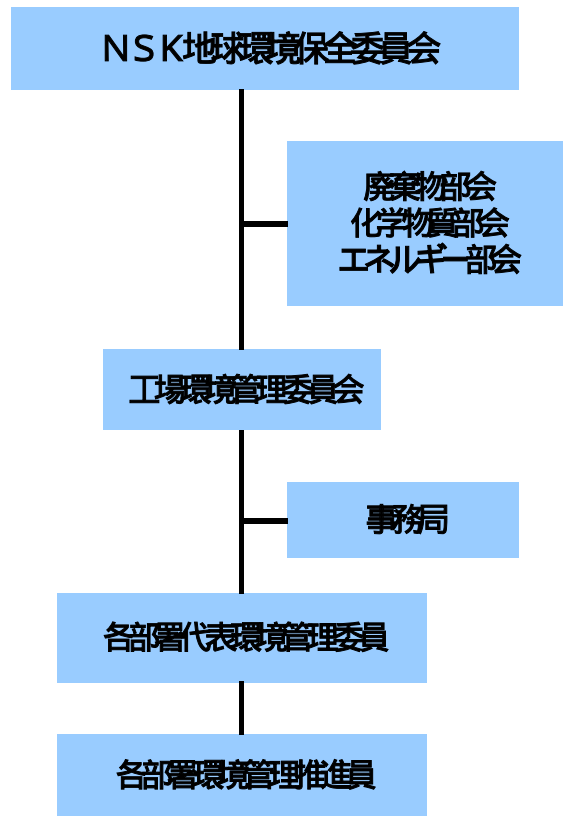
この環境方針は、要求に応じて、社内外に公表する。

作成・発行 2005年7月1日
日本精工株式会社 大津工場
大津工場長 芝本 英之

環境保全のあゆみ

1975	環境管理設置(本社)
1976	公害防止協定締結
1982	環境関連工場規定制定
1991	滋賀県環境保全協会環境保全優良事業所受賞
1992	滋賀県工場美化コンクール受賞
1993	NSK地球環境保全委員会発足
1994	滋賀県環境保全協会地球環境保全功労者受賞 環境管理内監監査
1995	廃棄物管理内監監査
1997	化学物質管理内監監査 NSK環境方針制定、快適職場推進事業所認定
1999	ISO14001取得
2000	大津市環境管理実施事業所認定 ISO14001滋賀工場統合取得 環境保全協定締結
2001	滋賀工場環境報告書第1号発行
2002	滋賀工場ゼロエミッション達成
2003	滋賀工場消火栓固形機全建替設置完了
2004	ISO14001分割審査(大津・石部工場)
2005	ISO14001更新・2004年版移行審査

環境管理推進組織

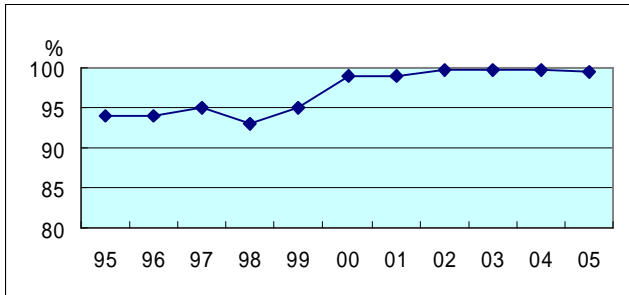


大津工場 中期計画		目 標	主な具体的施策
	2006年	2007年	2008年
省エネ	原単位 前年度の1%減	原単位 前年度の1%減	原単位 前年度の1%減
	燃料転換によるCO2削減	特高トランス高効率化	高効率化の追求による省エネ
廃棄物	リサイクル率99.8%の安定化	リサイクル率99.9%	リサイクル率99.9%の安定化
	廃棄物排出量の削減・埋立品廃止	廃棄物排出量の削減・埋立品廃止	廃棄物排出量の削減・埋立品廃止
汚染防止	汚染事故「0」件	汚染事故「0」件	汚染事故「0」件
	燃料用埋設地下タンクの廃止	危険個所の摘出と対策	危険個所の摘出と対策
化学物質	PRTR対象物質削減	PRTR対象物質削減	PRTR対象物質削減
	製造管理規定の徹底	PRTR法対象物質の削減	PRTR法対象物質の削減
グリーン調達	全調達品のグリーン購入	全調達品のグリーン購入	全調達品のグリーン購入
	省エネ設備、製品への転換	省エネ設備、製品への転換	省エネ設備、製品への転換

この1年間の主な環境保全の取組み

分類	項目	目的・効果
大気汚染防止	電話機械室ハロン消火設備の更新	オゾン層破壊物質の削減(48kg)
	1号一括洗浄室ハロン消火設備の更新	オゾン層破壊物質の削減(108kg)
	会議室・厚生施設等のエアコン更新	オゾン層破壊物質の削減(12kg)
	吸収式冷温水機の煤煙測定(2回/年)	定期測定による監視
	吸収式冷温水機の定期点検(2回/年)	メーカー定期点検による維持管理
	熱処理連続炉洗浄装置の改善	煤煙油分回収
水質汚濁防止	水質定期測定(雨水・処理水)1回/月	定期測定による監視
	油水分離槽定期清掃(9箇所 2回/年)	定期清掃による維持管理
	食堂オイルトラップ定期清掃(1回/月)	定期清掃による維持管理
土壌汚染防止	水質定期測定(地下水)1回/年	定期測定による監視
	1号一研エリア研削水ピットの2重構造化	漏洩時の土壌浸透防止
	研削水地下タックの内部塗装	漏洩防止
省エネルギー・電力削減	5号空調ファンモーターのインバーター化	省エネ制御(C/D 2460千円/年)
	高効率モーターの採用	高効率モーター採用による省エネ(C/D 523千円/年)
	1号トランス統合(旋削/熱処理)による省エネ	過負荷損の半減(C/D 143千円/年)
	組立機油圧ポンプのインバーター化	省エネ制御(C/D 60千円/年)
	研磨機油圧ポンプのインバーター化	省エネ制御(C/D 392千円/年)
	1号組立天井照明器具の更新	高効率照明器具の採用(C/D 56千円/年)
景観向上 緑化・美化	構内植木剪定・花壇植替え	景観向上、耐久性
	診療所前花壇拡張	景観向上

廃棄物のリサイクル率推移

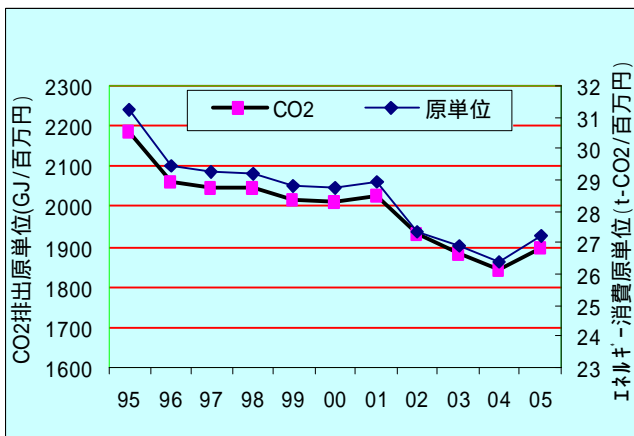


監視測定(水質・大気・騒音・振動)実績

水質(毎月外部検査機関にて測定)

項目	規制値	自主基準値	実績
PH	6.0~8.5	6.3~8.0	7.4~7.9
BOD(mg/l)	70	25	0.5~3.4
浮遊物質(mg/l)	90	30	0.5~5.1
油分(mg/l)	5	4	0.5~2.9
窒素(mg/l)	40	20	0.6~2.1
リン(mg/l)	2	1.8	0.7~1.2

エネルギー消費原単位とCO2ガスの排出



大気(年2回外部検査機関にて測定)

項目	煤煙発生施設	規制値	自主基準値	実績
NOX (ppm)	吸収式冷温水機	180	120	72
	金属加熱炉	該当設備なし		
ばいじん (g/m3N)	吸収式冷温水機	0.3	0.05	0.003
	金属加熱炉	該当設備なし		
SOx (k値)	吸収式冷温水機	8.76	5	0.01未満
	金属加熱炉	該当設備なし		

騒音・振動測定(敷地境界にて2回/年測定)

項目	時間帯	基準値	自主基準値	測定値
騒音	6:00~8:00	65	60	52~55
	8:00~18:00	70	65	50~59
	18:00~22:00	70	65	52~58
	20:00~翌6:00	60	55	52~55
振動	8:00~20:00	65	60	30~40
	20:00~翌8:00	60	55	30~40

夜間環境訓練 (油流出事故対応)



水中ポンプ・パネル水槽搬



パネル水槽組立



油水分離槽からの汲み上げ

地域との共生



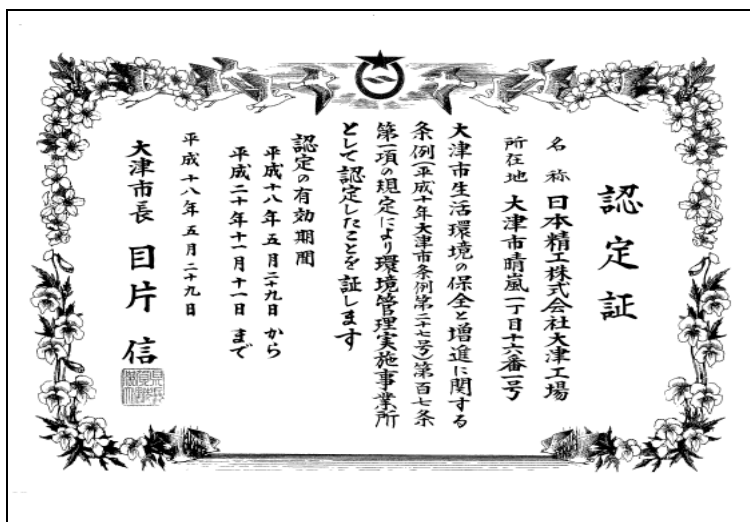
オープンハウス (工場見学会)



地域自治会への環境取組み説明会



工場周辺クリーン活動



環境管理実施事業所として継続認定

大津市生活環境保全と増進に関する
条例基準に、環境管理活動が適合して
いる事業所として、1999年11月
に認定を受け、今回で3度目の認定を
受けることができました。

お問い合わせ先

日本精工 (株) 大津工場
総務労働課 : 077-537-1600